

V. 関東支部設立総会報告

はじめに

標記設立総会が、平成 20 年 9 月 13 日(土)、霞ヶ関ビルにて開催されました。総会は、鹿児島大学 8 学部関東地区同窓会会員及び東京七高会会員約 340 名、来賓 22 名で盛大に執り行われましたので、概要をお知らせいたします。

開催日時；平成 20 年 9 月 13 日(土) PM2:00～6:30

〃 場所；東京都千代田区霞ヶ関「霞ヶ関ビル 33 階東海大学校友会館」

1. 関東支部設立の経緯

母校鹿児島大学の独立行政法人化に伴い、大学の要請もあり母校を側面から支援する鹿児島大学同窓会連合会が平成 17 年 4 月に発足しました。

地元鹿児島について同窓生の多い関東においても、同窓会連合会の関東支部を結成しようとの機運が高まり、各学部同窓会の発起人有志が平成 18 年頃より準備を開始し幾多の会合を重ね、ようやく設立総会に漕ぎつけることが出来ました。

関東地区には法文学部同窓会など学部毎の同窓会組織はあるものの、各学部を連合した全学的同窓会組織はなく、また旧制七高造士館との連携も殆どありませんでしたが、本連合会関東支部結成を契機に、タテ・ヨコの連携が増進され、力強く母校をバックアップできる体制が出来ました。

2. 各学部参加状況

各学部同窓会、七高の参加人員は次のとおりです。

東京七高会	14 名(他に来賓として 4 名)	法文学部	74 名
教育学部	13 名	理学部	38 名
医学部	23 名	歯学部	5 名
農学部	46 名	水産学部	39 名
工学部	86 名	計	338 名

3. 来賓者(敬称略) ○印の方にご挨拶を戴きました。

○鹿児島県知事	伊藤祐一郎	○鹿児島市長	森博幸
鹿児島大学	○学長 吉田浩己	理事	皆川洋一
	理事 面高俊宏	理事	渡部賢
	理学部長 清原貞夫	工学部長	福井泰好
	水産学部長 野呂忠秀	農学部副学部長	岩元泉
	農学部教授 鮫島吉廣		

京セラ(株) ○名誉会長 稲盛和夫

東京七高会 会長 湊秀雄
 幹事 鬼塚賢之介 幹事 森克彦 幹事 外園茂夫

鹿児島大学同窓会連合会

○会長 江口正純(法文学部同窓会長)
副会長 川畑隆(理学部同窓会長)
副会長 高松英夫(医学部同窓会鶴陵会副会長)
副会長 佐藤裕幸(歯学部同窓会長)
副会長 伊牟田茂夫(水産学部同窓会魚水会会長)
代表幹事 林満農(学部あらた同窓会副会長)

4. 総会式次第

(1) 設立総会 PM2:00～3:40

法文学部関東地区同窓会会長の坪地宏昌氏が議長に選出され、次の議題を審議し、採択しました。

鹿児島大学同窓会連合会関東支部設立趣意書の採択

① 会則の制定

② 役員選出

来賓ご挨拶 来賓を代表し前記の 5 氏にご挨拶を戴きました。

(2) 記念講演 PM3:40～4:50

「焼酎の不思議—先人の知恵と最近の展開」

講師 鹿児島大学農学部焼酎学講座主任教授 鮫島吉廣

焼酎の歴史、製法、成分、他のお酒との違い、最近のトピックなどについてユーモアを交えながら巧みな話術で分りやすく解説戴き、大変好評でした。

(3) 懇親会 PM5:00～6:30

①乾杯の音頭

東京七高会会長 湊 秀雄会長(東京大学名誉教授)

②コーラス

東京楠声会

③七高寮歌「北辰斜めにさすところ」

東京七高会その他有志

懇親会は、ご来賓を含め各学部間の交流、七高の先輩方との親睦が図られ、盛会裡に終了しました。七高の先輩方からは、「鹿児島大学卒業生の団結心と熱い心意気を感じました」との感想を戴きました。
以上

(法文 S44 卒別府博 記)

